

～安全に安心して産み育てられる環境を～ ともに考えるシンポジウム

目的

本県では、分娩取扱数の減少に伴う、経営環境の悪化や、医師の高齢化、後継者不足などを背景として、分娩を取り扱う医療機関が減少しています。

こうした状況の中、本シンポジウムでは、これからも安全に、安心して子どもを産み育てられる環境を守っていくために、本県の現状や課題を共有しながら、そのあり方について県民、医療従事者、行政など様々な立場の人たちがともに考える機会とします。

主催

長崎県福祉保健部

開催日時

7月20日(月・祝) 14時 ～ 16時(予定)

開催方法

【現地開催】長崎県庁 大会議室A (長崎県長崎市尾上町3-1)
【同時オンライン開催】Webexのシステムを利用

プログラム(予定)

1 挨拶

2 長崎県の周産期医療提供体制の現状

長崎県福祉保健部長

新田 惇一

3 離島妊婦さんの声

新上五島町「しまの授乳室」運営

市川 千恵

4 パネルディスカッション

(モデレーター) 長崎県福祉保健部長

新田 惇一

(パネリスト) 長崎県病院企業団 企業長

八橋 弘

(パネリスト) 長崎県県央保健所長(元産婦人科医) 宗 陽子

(パネリスト) 「しまの授乳室」運営

市川 千恵

参加対象 どなたでも可(事前申込は必須)

参加申込期限

7月15日

※定員になり次第締切

参加申込方法

要事前申込み(長崎県電子申請システムからの申込)

URLから登録またはQRコードを読み取り登録

現地参加とオンライン参加でURLやQRコードが異なりますのでご注意ください。

【現地参加】
先着50名程度



【オンライン参加】
定員100名程度



https://apply.e-tumo.jp/pref-nagasaki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=13814

https://apply.e-tumo.jp/pref-nagasaki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=13815